

# 経済統計 練習問題

## 第 20 回 物価指数 (4)

2012 年 12 月 6 日

問 1 以下の文章を完成させよ。

日本の消費者物価指数は {(a) ラスパイレス指数 (b) パーシェ指数} が用いられている。このタイプの価格指数が採用される理由としては、{(a) ラスパイレス指数 (b) パーシェ指数} が \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_ のに対し、 \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_ ということがある。

しかし、ラスパイレス指数とパーシェ指数の間にはズレがあり、通常の場合 {(a) ラスパイレス指数 (b) パーシェ指数} の方が大きくなる。ズレは時間とともに大きくなっていく。そのため、5 年に 1 度の基準改定の際に \_\_\_\_\_ をおこない、指数の妥当性を検証している。

問 2 下の表は指数の接続に関して、平成 17 年基準の消費者物価指数 (総合) の年平均の指数をまとめたものである。この表について書かれた下の文章の空欄を埋め、さらにこの表を完成させよ。ただし、\_\_\_\_\_ には語句、 には数値が入る。

	平成 17 年基準指数	平成 22 年基準指数
平成 17(2005) 年	100.0	
平成 18(2006) 年	100.3	
平成 19(2007) 年	100.3	
平成 20(2008) 年	101.7	
平成 21(2009) 年	100.3	
平成 22(2010) 年	99.6	100.0

平成 17 年基準指数を平成 22 年基準指数に改定する際には、「指数の接続」という手法が用いられる。基準改定の際に、過去の指数は新しいウエイトで再計算するべきであるが、\_\_\_\_\_ などがあるため、この手法が用いられる。

この手法は、過去の指数の数値を新しい基準年を 100 とする数値に変換するものである。ラスパイレス指数は \_\_\_\_\_ を満たさないで、理論的には問題のある手法である。

平成 17 年から 21 年までの指数の値を、平成 22 年を 100 とする数値に変換するには、各年のデータを  で割って 100 倍することによって求められる。

平成 21 年であれば、 ÷  × 100 =  が平成 22 年を 100 とする数値である。他の年も同様の方法で求めることができる。